

上場は“夢”じゃない!

ベンチャー企業の可能性を開く

TOKYO PRO Market

東京証券取引所
上場推進部
課長
横尾 直樹氏

ベンチャー企業を応援する Jトラストグローバル証券 (旧エイチ・エス証券)

幅広く多様な企業に上場のチャンスやその後の飛躍の可能性を提供するTOKYO PRO Market(東京プロマーケット、以下TPM)。ここ数年、TPMに上場する企業が増加するとともに、TPMから一般市場にステップアップ上場するという流れも加速している。TPMの特徴や最新動向、上場するメリットなどについて、東京証券取引所の横尾直樹氏とTPMのJ-AdviserであるJトラストグローバル証券の外山剛氏に語ってもらった。

上場コストが抑えられ 地方にも広がるTPM上場

— TPMとはどのような市場なのですか。

横尾 TPMは、東京証券取引所が単独で運営しているプロ投資家向けの市場です。22年9月末時点で59社が上場しており、注目度が高まっています。

グロースなどの新興市場と比較しても小規模の会社が大半を占めており、約7割が東京以外の地域に本社を置く会社で、業種もIT企業などに偏ることなくさまざまです。ここ数年はTPMから一般市場に市場を変更するケースも着実に増えてきています。

— 他の市場と比較した場合のTPMの特徴について教えてください。

横尾 大きく3つの特徴があります。1つ目は、市場参加者をプロに限定することで、一般の個人投資家よりもリスク許容度が高い前提で制度設計している点です。具体的には、上場基準に株主数や利益の額等の形式基準を設けておらず、

一般市場と比較して弾力的かつ機動的な上場が可能になっています。

2つ目は、取引所が資格を付与したJ-Adviserが企業の上場適格性を評価・判断する仕組みです。上場のための実質基準の評価・判断をJ-Adviserが行います。現在15社のJ-Adviserが参画しています。

3つ目が、一般市場と比較すると経済的にも期間的にも上場コストが抑えられる点です。一般市場に上場するには原則として、過去2期間分の財務諸表に対する監査法人の監査証明が必要ですが、TPMでは過去1期間分の監査証明で足りる。

人材獲得に大きな上場効果が ステップアップ上場の可能性も

— TPMに上場するメリットはどのようなものでしょう。

横尾 監査証明が付された財務諸表が継続的に開示されることなどから、企業の透明性が高まります。

また、上場会社としてのメディア等への露出の増加や情報開示の充実に伴い、

信用力や知名度の向上が期待できるのがTPM上場の大きなメリットです。

TPMに上場した会社の経営者にインタビューしたところ、「人材獲得の面で優秀な人材からの応募が増加した」「金融機関からの借入条件が有利になった」などの声が多数ありました。

外山 監査証明が1期間分で足りるということは、一般市場を目指すよりも1年早く上場会社としてのメリットが享受でき、TPM上場による成長速度の向上が期待できることとなります。

また、TPMには四半期開示義務はないものの、本決算と中間決算の開示義務はあります。つまり、一般市場よりも少ない負担で情報開示の経験を積むことができるということです。この経験は一般市場に上場した後もそのまま生かせるため、無駄がありません。

すべての会社が一般市場への上場を目指しているわけではないとは思いますが、TPMをうまく活用することで、一般市場へのステップアップ上場につながる可能性も十分にあります。

上場戦略のパートナーとしての Jトラストグローバル証券

— J-AdviserとしてのJトラストグローバル証券(以下JTG証券)の実績を教えてください。

外山 20年6月17日に東京証券取引所からJ-Adviser資格を承認され、2年強が経ちました。これまでに4社のTPM上場を手掛けています。直近では9月にペアキャピタル社が創業からわずか約2年でTPM上場を達成しました。また当社のTPM上場第1号として20年12月にTPMに上場したGeolocation Technology社は、TPM上場から9カ月後の21年9月に福岡証券取引所Q-Boardへの上場を達成しています。

— 上場を目指す企業のパートナーとしてのJTG証券の強みとは。

外山 現状をひと言で申せば「少数精鋭部隊」です。引受部門・引受審査部門の中核メンバーは大手証券で経験と実績を積んだ人員であり、ツボを心得た上場サポートを会社ごとに実践できる体制となっています。

事実、J-Adviserとしての実績に限らず、東京証券取引所の一般市場上場の継続的な主幹実績があります。企業にとって適時適切な上場戦略を提案し、成長戦略の実現をサポートするための素養を持った証券会社であると自負しています。

将来性のあるTPM JTG証券では地方の企業にも注力

— TPMは今後、どのような市場に育っていくと思われますか。

横尾 TPMの認知度は向上しており、資金調達やステップアップ上場などさまざまな形で活用されるようになってきている状況がうかがえます。

東京証券取引所としては、地域の中堅企業のステップアップの道筋を確立するプラットフォームとしてのTPMの価値を高めていけるのではないかと考えています。将来的には、日本全国に上場会社の裾野が広がり、企業の成長・発展を通じて、地域経済の活性化に貢献できるような動きにまでつなげていくことを目指しています。

— TPMを目指す企業に向けて、JTG証券からのメッセージをお願いします。

外山 当社は3月末にJトラストグループの一員となり、10月にはJトラストグローバル証券に社名も変更し、新たなスタートを切っています。今後は、今まで以上に多岐にわたるサービスをお客様に提供できると感じています。

現状、企業の方々とお話をしていると、特に地方の企業にとっては「上場」が遠い目標になってしまっているのを実感します。一方で、TPMをうまく活用すれば、上場は夢ではないというのも事実です。当

Jトラストグローバル証券
投資銀行本部
引受部長
外山 剛氏



社が、地域の中堅企業の一般市場上場への道しるべとなるよう、今後ますます力を入れていきます。

TPMの上場については、電話だけではなくHPを通じてのお問い合わせも多く、WEBセミナーや個別相談会に多数の企業のご参加をいただいています。次回WEBセミナーを11月に開催予定です(JTG証券HPから申込可)。上場を目指す経営者の方は、ぜひWEBセミナーにご参加ください。さらに、個別のWEB相談会を実施している他、当社担当者の訪問による相談にも、地域にかかわらず随時対応しています。

WEBセミナー ※事前予約制・参加費無料

成長戦略のための株式上場

日時: 2022年11月16日(水) 15:30~16:30

講師: Jトラストグローバル証券 引受部長 外山 剛

セミナー・個別相談会・資料請求のお申込みは

10月1日エイチ・エス証券は社名変更しました。
Jトラストグローバル証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号 加入協会/日本証券業協会 <https://www.jtg-sec.co.jp>

WEB個別相談会

株式上場、市場変更、事業拡大へのM&Aや事業提携等、この機会にぜひご相談ください。

WEBセミナーおよびWEB個別相談会は、Zoomを利用します。参加をご希望のお客様は、弊社ホームページもしくはお電話にてお申込みください。当社個人情報保護方針は<https://www.jtg-sec.co.jp/hs/kojin.htm>をご参照ください。

JTG 検索 TEL 03-4560-0339